

大学職員のための高等教育情勢（基礎）

開催趣旨

高等教育をめぐる情勢は今、混沌としたものがあります。国の予測を上回る「少子化の進行」に加えて、DXやAIといったICT環境の進化、グローバル化の進展、学習指導要領の改訂など、直接的に大学に関係する要素だけでも数多くの変化が生じています。さらに想定外の事態として、パンデミック（コロナ禍）の発生、気候変動の深刻化、ロシアによるウクライナ侵攻とエネルギー問題の発生、為替相場の変動リスクや、それらに伴う資材・飼料・食材費の高騰など、日常生活から経済活動に及ぶ次元にまで、現代社会は多様な問題に直面するようになり、その影響が高等教育にも及んでいます。

こうした状況にあって、これから先の未来を予測することはいっそう困難となり、また、大学に求められる社会的使命や役割も多様化するようになりました。

その一方で、文教政策は今、大学のあり方そのものを問うような動きを見せています。令和5年4月からの大学設置基準改正は、従来にはない広範なものとなり、各大学はその対応に追われることとなりましたが、議論が続く学校法人ガバナンス改革の結論次第では、私立大学はより大きな組織的变化を図ることが求められます。

今、高等教育をめぐる情勢に何が起きているのか？どうしてそうなったのか？過去はどうであったのか？こうしたことを正しく理解することで、未来が見えてくる、あるいはヒントを見出すことができるのではないのでしょうか？

本講義では、こうした高等教育をめぐる情勢や文教政策の変化を読み解き、明日を見通し未来を創造していく場にしたいと考えています。本講義を受講いただいた皆さまが、所属大学に戻られた後に、大学改革の担い手としてご活躍いただく、その一助となれば幸いです。

対象の目安

全教職員（勤続年数にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。）

開催日時

2023年6月14日（水）13:00～16:00

会場

キャンパスプラザ京都 4階 第4講義室

募集定員

20名

※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順

※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。

※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

【参加費用】

加盟大学・短期大学 1,000 円

非加盟大学・短期大学 4,000 円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】

2023年6月12日（月）

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEB ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2023年4月28日（金）10：00 ～ 5月31日（水）17：00

研修プログラム

1. アイスブレイク（グループワーク）：10分

- 自己紹介
- これから先の未来はバラ色？ いばらの道？
- あなたが（自）大学の経営者なら、どうすべきか？

2. 文教政策の流れを知る（講義）：30分

- 地方創生、高等教育無償化、大学設置基準の改正、ガバナンス改革・・・
- 過去はどうだったのか？～「四六答申」以降の大きな流れを理解する
- 「高等教育計画の策定と各種規制の時代」から「将来像の提示と政策誘導」へ、そして今

3. 大学改革に必要な要素は何か（講義）：20分

- 内部環境の可能性・外部環境への適応
- 将来の見通し・文教政策の把握

4. 環境変化と学生募集のあり方（講義&グループワーク）：30分

- 大学の置かれた状況は個々に違う
- 「ランチェスターの法則」から捉えた学生募集戦略
- 何を重視し、何を捨て、何に注力するか？

5. これから先の未来を俯瞰する（講義&グループワーク）：30分

- 絶望的未来か？危機はチャンスか？
- 「ゼロ」から「イチ」を創る力とは？

6. 中長期計画は大学改革の処方箋（講義&グループワーク）：30分

- 中長期計画をどう実質化し、大学構成員の「エンゲージメント」を確立するか？

7. 君たちはどう生きるか？（グループワーク&発表）：30分

- どのように所属大学の「舵」を取る？ そのために必要なことは何？

講師

岡田 雄介（おかだ ゆうすけ）氏

所属：龍谷大学 入試部・高大連携推進室 事務部長

経歴：1995年4月、龍谷大学に入職。文学部教務課、システム課、学長室を経て、2020年度から現職。この間、2004～2019年度までの16年間、学長室において経営企画、中長期計画、設置認可申請、IRなどの業務に携わる。